

江戸時代の酒蔵で開催する
ナチュラルと美のイベント

アンドリュース記念館や近江八幡教会、旧八幡郵便局など、ヴォーリズ建築と呼ばれる美しい洋館が点在するわがまち近江八幡市。「RAKUICHI」は、そんな旧市街に新たなにぎわいをつくらうとスタートしました。会場の近江八幡まちや倶楽部は、およそ300年前の酒蔵を改装した建物です。

「昨年7月に行われた商工会議所の交流会で、近江八幡まちや倶楽部の宮村利典さんと出会いました。古いまち並みと洋風建築が共存する近江八幡には、個性的な店が多い。もつと多くの人に、まちの魅力を知ってもらいたいと意気投合したんです」と話すのは、アンドリュース記念館2階でカリフォルニアナッツとドライフルーツの専門店「ゴーイングナッツ」を営む道城牧人さん。市内で美容院「Toko Ryo」を経営する中村仁彦さんにも声をかけ、道城さんが代表となって実行委員会を結成しました。

市内外の店舗に参加を呼びかけ、2カ月後には会場の下見を兼ねた説明会を実施。約30店が集まった第1回は、大雨にも関わらず約1000人が訪れました。「準備段階でもつとも苦労したのは会場のレイアウト。と



第4回目には旧八幡郵便局も会場として使用しました



手作りの個性的な雑貨が充実



リラクゼーションメニューもさまざま

でも大きな会場ですから、広い空間を生かすオブジェや照明の配置など、市内で雑貨店『おてと三階亭』を営む橋三枝子さんにアドバイスをもらいました。「と振り返ります。12月の第2回を経て、橋さんのほか、まちや倶楽部内の手芸店「Idea note」の店主である小林優子さん、整理収納アドバイザーの室谷夏美さん、FMひがしおうみの浅居笑さんが実行委員会に加りました。3月の第4回には62店舗が参加するなど、少しずつ規模は拡大しています。

駐車場と駐輪場を提供
地元商店街が積極的に協力

世の中の流行に左右されず、天然の素材や手づくりの良さを知ってもらおうのがRAKUICHI



司会はFMひがしおうみのパーソナリティ、浅居笑さんが担当。趣向や大きな樽、土壁から、かつての酒蔵の雰囲気味わえるのも魅力です

HIのコンセプト。オーガニック食材を使ったランチや無添加の弁当、天然酵母パン、自然派ワインなど、体に優しい食品やドリンクがそろいます。また、革や布の小物、帽子、カバン、アクセサリーなど、一人ひとりの作家がこだわって丁寧に作った雑貨も充実。リフレクソロジーやヨガ、アロマセラピーといったリラクゼーション系の出店も目立ちます。第4回からは、まちや倶楽部の斜め前にある旧八幡郵便局でワークショップを実施。ほかにも地元の生産者が有機野菜を販売したり、春にオープンする焼鳥店が実演販売をしたりと、地域との連携も着実に進んでいます。「一番うれいしいのは、周囲が積極的に協力を申し出てくれること。駐車場や駐輪場の場所を提供してくれる店も。

『できる限り協力してくれよ』という応援の声をたくさんもらっています。「と道城さんは笑みを見せます。地域の賛同もあり、3月以降は毎月最終土曜日の定期開催が決定。「これからも面白い内容をどんどん盛り込み、ゆくゆくは商店街のイベントの一つとして認められるようにしていきたい」と道城さん。「明治時代に来

巻頭特集

わがまちの新たなまちおこしイベント

RAKUICHIへ行こう!



昨年秋より、近江八幡市仲屋町中の酒蔵を改装した近江八幡まちや倶楽部で定期的で開催されている「RAKUICHI」。今年3月以降は毎月の開催が決定しています。実行委員会を訪ね、イベントの魅力や今後にかける思いを聞きました。

次回開催は4月28日(土)! 約30店舗が参加します



ナチュラルと美のマルシェ
RAKUICHI
【日時】4月28日(土)11時~17時
【場所】近江八幡まちや倶楽部
(近江八幡市仲屋町中21)ほか
<https://ja-jp.facebook.com/omi.rakuichi/>

『できる限り協力してくれよ』という応援の声をたくさんもらっています。「と道城さんは笑みを見せます。地域の賛同もあり、3月以降は毎月最終土曜日の定期開催が決定。「これからも面白い内容をどんどん盛り込み、ゆくゆくは商店街のイベントの一つとして認められるようにしていきたい」と道城さん。「明治時代に来



実行委員会の皆さん。左から小林優子さん、橋三枝子さん、中村仁彦さん、宮村利典さん、代表の道城牧人さん、浅居笑さん、室谷夏美さん。チームワーク抜群で、常に笑いが絶えません



イベント中はDJが常駐し、素敵な音楽が流れます



どれを食べようか迷ってしまうフードメニュー。第4回にはアンドリュース記念館と近江八幡教会を望む庭に、焼鳥店が出店しました